

みずほCustomer Desk Report 2018/10/18号(As of 2018/10/17)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.41
TKY 9:00AM	112.34	1.1577	130.05	GBP/USD	1.3186
SYD-NY High	112.68	1.1580	130.16	AUD/USD	0.7160
SYD-NY Low	112.02	1.1496	129.17		0.7107
NY 5:00 PM	112.66	1.1501	129.57		0.7108
NY DOW	25,706.68	▲ 91.74	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,642.70	▲ 2.79	日本10年債	0.1400	0.00bp
S&P	2,809.21	▲ 0.71	米国2年債	2.8927	2.51bp
日経平均	22841.12	291.88	米国5年債	3.0606	3.79bp
TOPIX	1713.87	25.96	米国10年債	3.2060	4.36bp
シカゴ日経先物	22,900.00	▲ 10.00	独10年債	0.4610	▲ 2.75bp
ロンドンFT	7,054.60	▲ 4.80	英10年債	1.5735	▲ 3.40bp
DAX	11,715.03	▲ 61.52	豪10年債	2.7075	▲ 0.95bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.68	▲ 0.04%
上海総合	2561.6140	15.28	USDJPY 3M Vol	6.97	▲ 0.01%
NY金	1,227.40	▲ 3.60	USDJPY 6M Vol	7.55	▲ 0.02%
WTI	69.75	▲ 2.17	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	198.90	▲ 0.82	EURJPY 3M Vol	8.78	▲ 0.02%
ドルインデックス	95.58	0.53	EURJPY 6M Vol	9.28	0.04%

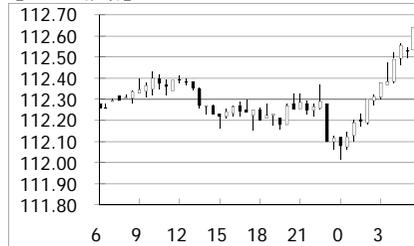
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月17日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/2.4%	0.3%/2.6%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	9月 1.9%	2.0%
	18:00	欧 コアCPI・確報	9月 0.9%	0.9%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	9月 0.5%/2.1%	0.5%/2.1%
	21:30	米 住宅着工件数	9月 1201k	1210k
	21:30	米 建設許可件数	9月 1241k	1275k
10月18日	03:00	米 FOMC議事要旨	「引き続き漸進的な利上げが適切」	

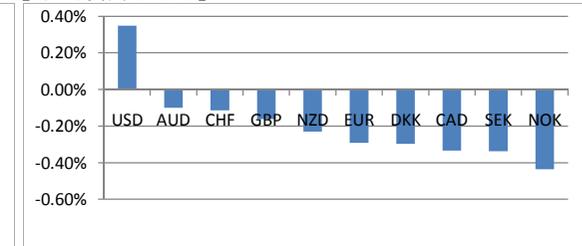
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月18日	09:30	豪 雇用者数変化	9月 15.0k	44.0k
	09:30	豪 失業率	9月 5.3%	5.3%
	09:30	豪 労働参加率	9月 65.7%	65.7%
	09:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	9月 -0.4%/3.8%	0.3%/3.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	13-Oct 212k	214k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.00	1.1450-1.1550	129.00-130.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇した。9月米住宅指数が市場予想を下回ったことなどから米株式市場が下落すると、ドル円は一時112.02まで下落する場面もあった。しかしその後は、9月FOMC議事録で、中立金利を上回る利上げの容認が多数と、引き続き利上げが適切との見解が示されたことから終盤までドル買いが進み、112.66でクローズした。本日は、イベントに乏しく、動きにくそうであるが、世界的な株価の調整にも一服感が見られ、ドル円は底堅く推移するものと思われる。

東京	東京時間、112.34レベルで取引を開始したドル円はバルエEU主席交渉官が英国のEU離脱交渉の1年間延長も視野に入れているとの報道が意識される中、東京時間高値112.43まで上昇。後場に入ると日経平均株価の下落を横目にドル円もじりじりと軟調推移の展開となり、安値112.16まで下落し、112.24レベルで海外に渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間のドル円は横ばい、112.24レベルでオープン。特に注目される材料も無く、また9月20日、21日に開催されたFOMC議事要旨の発表をNY時間に控え様子見ムード、20日以内での小幅推移となり、112.28レベルでNYへ渡った。ポンドは下落した。1.3183レベルでオープン。9月英消費者物価指数が前年同月比2.4%上昇(予想2.6%上昇)と3か月ぶりの低水準となった事で1.3100まで値を下げた。その後は同水準での推移となり、1.3108レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は日米株高を背景にリスク選好のドル買いが進み112.43まで上昇するが9月FOMC議事録の発表や米財務省による為替報告書の公表を控えていたことから様子見ムードが強まり、112.25近辺でもみ合いが続いた。NY時間、112.28でオープンしたドル円は112.37まで上昇するが、NY朝方発表された米住宅指数が予想を下回ったことや日経平均が一時300ドル超下落したことから112.02まで反落。その後、注目の9月FOMC議事録では引き続き漸進的な利上げが適切との見解が示されたほか、一部メディアから長期的水準を超える水準への利上げに必要になる可能性が指摘されたことからドル買いが進み、NY終盤まで底堅い展開となり高値112.68まで上昇。そのまま高値圏のまま推移し、112.66レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルはメルケル独首相が演説で「合意なきブレグジットに備えるための準備を始めた」と表明したから下落したポンドに連れ安となり1.1526まで下落するも小幅に値を戻し1.1532レベルでNYオープン。NY朝方はドル売り優勢の展開となり、1.1547まで上昇するが、海外時間のブレグジット報道やイタリア財政への懸念(欧州委員会がイタリア政府の予算案の拒否されるとの報道が伝わっている)により上値が重い展開。FOMC議事録発表後にドル買いが強まったことから、安値1.1496まで下落する場面も見られた。結局、そのまま安値圏の1.1501レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・田家